



ニュースレターくまもと

Vol.134
2024. 1

NEWS LETTER KUMAMOTO

■ 発行：一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4 番 18 号(熊本市国際交流会館)
■ Publisher: Kumamoto International Foundation(KIF) TEL:096-359-2121 / FAX:096-359-5783
e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp URL: <https://www.kumamoto-if.or.jp>

★CONTENTS★

P1 新年のご挨拶

P2 報告Ⅰ「第2回外国人のための無料法律相談会」

P3-4 報告Ⅱ「4年振りに開催！国際交流イヤーエンド
パーティ 2023」

P4 報告Ⅲ 世界をよく知るセミナー

P5 世界を知る NGO 活動小さな一歩の会 20 年の歩み

P6 世界を知る JICA グローカルプログラム活動

P7 イベント告知欄

P8 インターン活動を終えて、賛助会員募集

新年のご挨拶

謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。

旧年中は、皆様方より多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



熊本市国際交流振興事業団の活動にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。まず、この度の「令和 6 年能登半島地震」により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被害を受けられた皆様、ご家族・関係者の皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々におかれましても深く敬意を表し、被災地域の皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当事業団におきましては、昨年 5 月に、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「新型インフルエンザ等感染症(2 類相当)」から「5 類感染症」に移行され、行動規制が緩和されたことにより、多くの事業において通常通りの実施ができました。特に、日本語コミュニケーションを学ぶ活動においては、活動に参加したい多くの外国の方の申し込みがあり、ボランティアが不足するという状況もございました。また、世界的な半導体メーカーである TSMC が熊本に進出し、本年より工場が稼働します。それに合わせ、台湾より多くの TSMC 関係者が転入してきている状況もございます。さらに、第 2 工場の建設も始まりました。そのような中、熊本市北区にある日本語教室では、約 8 割が TSMC 関係者の家族の方が参加されており、日本語の学習に励んでおられます。熊本市全体をみましても、外国人が著しく増加しています。外国人総合相談プラザが開設された 2019 年は、外国人数 5,927 人でしたが、2024 年には 9,061 人と 3,000 人以上増加しています。

一方、日本人市民は、同年比較で、734,059 人から 731,678 人と 2,400 人ほど減少しています。外国人の増加がなければ 5,000 人以上減少していることになります。少子高齢化の現在、外国人を地域活動の担い手として、多様性と包摂性のある持続可能な共生社会を築くため、増加する外国人住民を含め一人ひとりが責任ある地域社会の一員として地域づくりに参画していくことが今後、重要になっています。最後になりますが、社会情勢の変化に対応しながら、「多様な人たちが支え合う多文化共生の地域づくり」の実現に向け、これからも事業を進めてまいります。

文末になりましたが、皆さまの本年のご健康とご健勝を心よりお祈りしつつ 2024 年の年頭のご挨拶とさせていただきます。

2024 年 1 月

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団

小野 友道

報告1

第2回外国人のための無料専門相談会

熊本市外国人総合相談プラザ(以下「相談プラザ」と称します)では、令和5年10月29日(日)に、年に1度の「外国人のための無料専門相談会」を開催しました。相談プラザでは、日頃から専門相談や多言語相談を行っていますが、曜日によって相談ができる内容が限られており、一回で相談が解決できない場合も少なくありません。本相談会は、熊本県行政書士会、熊本県弁護士会、熊本市居住支援協議会、熊本県外国人材受入支援センター、BeMe コンサルティング、相談プラザの多言語相談員のみなさまにご協力を賜り、一堂に会することで、相談者が一日で色々な相談ができる機会を作りました。

当日は19名の外国人が来場し、27件の相談がありました。国や地域別に分けるとアメリカやインドネシア、フィリピン、ベトナム、台湾など11か国地域、在留資格別では、教育や留学ビザが多く、他、日本人配偶者や技術・人文知識・国際業務などの方でした。日本語での相談が困難な方には多言語相談員が通訳として入り、円滑に相談を行うことができました。

相談内容としては、今後、卒業や契約満了に伴った就職相談が多くを占め、これに付随して在留資格の相談をするケースや現在の就労先でのトラブルに関する相談、子どもの小学校のことや、日本語習得のこと、在留資格の変更に関する相談、心の相談などがありました。また先述の通り、19名の相談者で27件の相談があったことから、一人の相談者が複数の専門相談を受けたことが分かり、今回のような相談会の意義を感じました。

参加者のアンケートからも、「ストレスが解消できた」、「相談員が熱心で相談内容が分かりやすかった」、「専門家からのアドバイスがもらえてよかった」など概ね満足度が得られるような回答があり、相談会の時期についても今回と同様がいいという意見が多かったため、来年も同じ時期に開催をしたいと考えています。この相談会を通じて、より多くの方に相談プラザの存在を知ってもらえる機会にできればと考え、また、外国人住民にとって気軽に相談ができる場にしていければと思います。

相談会や普段の相談でも、多言語相談員以外の言語の場合は3者通話を使って21言語での対応が可能です。また、対面での相談は勿論、オンライン(Zoom)の相談もできます。遠方の方でも相談ができますので気軽にご活用ください。



予約優先
2023
10/29(日)
10:00-16:00
◎熊本市国際交流会館 2F

ふだんの相談日と何が違うの？
定例相談、出入国管理相談、住まいの相談、おしごと相談など、ふだんはそれぞれの相談日にしか相談できませんが、この日は1日で、2つ以上の相談を受けることができます。予約すればおたずねは可能です。ぜひ予約してください！
※相談プラザでも実施しています！

第2回 外国人のための
無料 専門相談会
Free professional consultation
for non-japanese residents

在留資格、お仕事探し、こどもの教育、こころの悩み、日本語の勉強など日本の生活の中で困っていることを専門家に相談することができます。費用は無料です。秋葉は必ずしますので安心して相談してください。
※23言語、対面・オンライン相談対応。予約優先です。

参加者
くまもと県民交流センター
熊本市外国人総合相談プラザ
Kumamoto consultation
and support plaza
for foreign residents
〒960-0801 熊本市中央区東下町4-18
熊本市国際交流会館 2F
◎www.kumamoto-if.or.jp/plaza/
◎soudan@kumamoto-if.or.jp
◎096-339-4993

QRコード

相談プラザの地図

4年ぶりに開催！ 国際交流イヤーエンドパーティ 2023！

熊本市国際交流振興事業団(KIF)では、1994年(平成6年)9月の熊本市国際交流会館の開設以来、12月の週末に表題パーティを実施して参りました。しかしながら、コロナ禍の影響で2019年12月を最後に中断していましたが、今回4年振りに催すことが出来ました。4年振りの開催となった本催事を行うにあたり、こちらも4年振りとなったKIF学生ボランティアたちによる企画運営を行う実行委員会メンバーたちが集い、複数回の会議から実施に至るまでの様子をご紹介します。

(実施日時) 令和5年12月9日土曜日 午後6時-8時

(実施会場) 熊本市国際交流会館6Fホール

(参加者数) 183人 (内訳) 日本人93人、外国人22カ国59人、
学生ボランティア31人



(企画立案時)

猛暑が日本列島を覆う8月上旬、表題催事について本年度は実施するべきか否かKIF内部で協議しました。コロナが5類に移行してはいるものの、依然、感染力を誇るコロナの影響下において飲食を伴う本催事の開催に一抹の不安があったことは否めませんでしたが、KIF事業の中でも人気が高いイベントでもあり、また、多くの方が楽しみにしているのではないかと考え、開催に向け準備することとなりました。そして8月下旬、学生ボランティアに実行委員を募ったところ10余名の学生たちが集まり実行委員会が始動しました。4年ぶりの開催だったため、いわゆる学生ボランティアの先輩後輩関係による事業継承が困難な状況ではありましたが、事務局側スタッフも、以前のやり方を思い出しながら学生ボランティアたちと話し合いを重ねました。

会議の初期段階、まずは実行委員を組閣するうえでの各種役割を決めるにあたり、要職となる実行委員長を希望する学生を募ったところ、後述で感想も述べていただいた高校3年生の中村楓逢(ふうあ)さんが名乗りを上げ



てくれました。楓逢さんは他のイベントでも積極的にボランティア活動に取り組んでいただいている方で、彼女の積極性に追尾するかのよう副実行委員長、司会者、司会の英語通訳、チラシのデザイン作成など主だった役割がスムーズに決まりました。

次に、テーマについても学生たちから提案を募ることとし、実行委員長からのメッセージにて後述していますが、準備に取り掛かりました。次は、どのような企画でパーティを盛り上げ

るか協議を重ね、熊本在住の外国人たちによるパフォーマンスを始め、パペットショーや大道芸、留学生のカラオケなど場を楽しませるアトラクション企画が決まり、また、交流ゲームでは日本人と外国人が互いに言葉の壁や異文化理解を深めてもらえるような内容にするなど次々に企画しました。当日の受付やクローク、飲食物の提供などの運営まで含めると最終的には31名もの学生ボランティアの方々が手伝ってくれました。飲食コーナーや抽選会では15社、団体からの心温まる数々の協賛品のおかげで楽しい夕べを過ごしていただけたことだと思います。



《実行委員長を務めた中村楓逢さんより》 ＊写真の左から2人目。他、実行委員メンバー



国際交流イヤーエンドパーティ 2023 の実行委員長を務めさせていただきました神村学園高等部 3 年中村楓逢です。今回のテーマは～ Restart 世界と再びつながろう～でした。コロナの影響で 4 年ぶりの開催というもあり「再スタートする」というメッセージが込めました。

そして、このパーティは私たち高校生、大学生の学生ボランティアが企画立案や進行、運営を担い、国際交流会館スタッフのご指導のもと何度も会議を重ね、この日無事に開催することが出来ました。ご協力誠にありがとうございます。

コロナの中、日本に来た外国人や、逆に日本から帰国できなかった方、家族に会えず不安な日を過ごした方、沢山の想いがあったと思います。当日、参加された方の笑顔や楽しんでいる姿を見たり、帰り際に「楽しいパーティをありがとう！」などと声をかけていただき、参加者の皆さまが喜んでいただけたようで、私たち学生ボランティア一同も感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりますが、このイベントで素晴らしい出逢いをありがとうございました！

——協賛企業一覧(この場を借りて改めて御礼申し上げます。順不同、敬称略)——

株式会社フジバンビ キリンビール株式会社 瑞鷹株式会社 株式会社熊本シティエフエム 株式会社珠郎
株式会社ナチュラルコーヒー サントリーホールディングス 株式会社キューネット 株式会社ジューズー
外国人コミュニティ団体(外国人妻の会熊本、ベトナム、メキシコ、ネパール、中国、台熊友誼会)

報告Ⅲ

～熊本市・エクサンプロヴァンス市交流都市締結 10 周年記念事業～ 世界をよく知るセミナー「フランス・プロヴァンス地方の魅力探索」 報告

令和5(2023)年、熊本市とエクサンプロヴァンス市との交流都市締結 10 周年を記念し、エクサンプロヴァンス市を含むプロヴァンス地方の魅力探索と題し、同市出身で熊本市在住の写真家、Sophie Korini-Inada 氏を講師に迎え、その魅力を紹介するセミナーを開催しました。また、同年9月30日から10月8日に亘り、熊本市代表団がエクサンプロヴァンス市(ドイツ・ハイデルベルク市を含む)を訪問されました。エクサンプロヴァンス市在住の日本人の方々が、現地の方々と交流の様子を動画にされていますのでご紹介します。

●交流の紹介動画 YouTube

《クリスマスマーケットの様様》

《竹あかり共同制作の様様》

《熊本市海外訪問(フランス・ドイツ)報告》



《クリスマスマーケット》 <https://www.youtube.com/watch?v=wzykNscq9DA>

《竹あかり共同制作の様様》 <https://www.youtube.com/watch?v=hpidxFPghL8>

《熊本市海外訪問(フランス・ドイツ)報告》

https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=52069&class_set_id=3&class_id=616



世界を知る

本項では「世界を知る」をテーマに JICA(独立行政法人国際協力機構) デスク熊本や、国際交流・国際協力分野で活躍している方、海外で生活している方々の協力を得て、日本で生活する私たちが日ごろ知ることが出来ない世界の興味深い状況をご紹介します

NGO 活動 小さな一歩の会 ～ 20 年の歩み ～

森 理恵子さん

自分に出来る小さなことで誰かの役に立てないか、という想いをずっと抱いていましたが、一人では何も出来ません。でも多くの人たちの小さな一歩が集まれば、なにか貢献出来るのではないかと、2003年1月に「小さな一歩の会」を立ち上げました。

そのきっかけになったのは「押し花しおり」です。地元の中学校の ALT だったカナダ人女性が帰国前に何かチャリティーイベントをしたいというのでお手伝いをしようと、「何をすればいい?」と尋ねたら、「そんなの自分で決めることでしょ!」と言われました。戸惑っていると「あなたは押し花しおりが作れるじゃない。」と。以前、彼女に押し花しおりをプレゼントしたことがあったのです。でもその時一度しか作ったことがありません。みんなが参加してくれるかどうか半信半疑で押し花を準備し、当日、ワークショップを行いました。するとどうでしょう。しおり作りは大盛況で、大人も子どもも、体験した人全員が「これ楽しい!」と自分の作った作品に満足し、笑顔になってくれました。これだったら、みんなで楽しみながらボランティアが出来るのではないか、と思いついたのです。子どもも参加しやすいように1枚150円にして、その売上を寄付することにした。



また使用済みの切手や書き損じ葉書の回収も行っていますが、今では全国各地から送られてきて、それらも大きな収益になっています。会を立ち上げて、まずは集まった収益をどこに寄付しようかと支援先を探しました。当時、カンボジアでは内戦で国中に地雷が埋められていて、多くの犠牲者が出ていました。地雷で障害者になった親は働けないので、その子どもたちは学校へ行けません。そこで地雷被害者が集められた村に無料で通える「希望小学校」建てて、村人の支援をしていた東京の「国際人権ネットワーク」に支援金を贈ることにしました。

地雷被害者となって悲観していた親たちも、子どもたちが学校で勉強できるようになると希望が出てきて、村に自治会ができ、みんなが協力し合うようになってきました。アンコールワットの遺跡群の中にあり、以前は立ち退き対象だった村ですが、村の活動が国に認められ、「希望小学校」は2019年に正式に公立小学校になったのです。ここで「希望小学校」への支援は終了することになりました。その後はメコン5か国の子どもたちを支援している「民際センター」を通じて、カンボジアの中学生へ奨学金や自転車を増ったり、小学校への図書支援を行ったりしています。

その他に、バングラデシュで家事使用人として幼いころから働く少女たちの教育支援している「シャプラニール」、アフリカの元子ども兵の自立やウクライナ難民の支援をしている「テラ・ルネッサンス」、地元熊本では、医療ケアを必要とする子どもたちや若者の就労支援をしている「NEXTEP」、障がいのある人もない人も一緒に楽しむ音楽祭を主催する「オハイエくまもと」、県内の子ども食堂が参加する「熊本県こども食堂ネットワーク」など、主に子どもたちを中心に支援活動をおこなっている団体へ寄付をしています。



今年20周年を迎え、これまでに支援した寄付総額は 10,347,628 円になりました。これは多くの皆様の小さな一歩の賜物です。コロナ禍でしばらく出来なかった押し花しおり作りですが、今はあちこちで開催できるようになりました。子どもも大人も高齢者も、みんなが楽しみながら出来るボランティアです。興味のある方は遠慮なくお問い合わせください。これからも皆様と共に活動していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

《連絡先》 小さな一歩の会 森 理恵子

TEL/090-5946-5416 HP://www.chi-sanaippo.com



小さな一歩の会 HP
QR コード



続・世界を知る

JICA海外協力隊グローバルプログラム

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団所属 能條 奏子さん

みなさん、初めまして。能條奏子と申します。私は、2023年の10月中旬から12月下旬まで、JICA 海外協力隊のグローバルプログラムという研修のため、熊本市国際交流振興事業団(以下 KIF)で活動していました。今日は、そんな私の活動についてお話ししたいと思います。

その前に、まず「JICA 海外協力隊」と「グローバルプログラム」について説明させていただきます。JICA 海外協力隊は、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティア派遣制度で、開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術や知識、経験を持った人材が派遣され、現地の人々と共に現地の課題に取り組むというものです。発足から50年以上という長い歴史を持ち、これまでにのべ4万人を超える方々が参加しています。ちなみに、熊本市国際交流会館2階にはJICAの熊本デスクが入っていますので、興味のある方はぜひ訪れてみてくださいね。そして、グローバルプログラムとは、JICA 海外協力隊合格者の中で希望する者が、派遣前の約2カ月半、日本各地の自治体・団体等の実施する地方創生や、課題解決に資する活動に取り組むというものです。その活動を通して得た経験や知識を、派遣国での活動や、さらには帰国後の社会還元に活かすことが期待されています。熊本県では、熊本市のほかにも人吉・球磨地域、宇城市、玉東町で受け入れがされており、私は熊本市で2代目の実習生となりました。

実習を始めて、熊本市ではここ数年で在外国人が急激に増加しているということや、「外国ルーツの子ども」と呼ばれる、両親または一方の親が外国人の子どもや、日本人であっても海外で長く生活した子どもが増えていて、支援を必要としている人が多いということがわかりました。そこで、今後の支援の在り方を考えるため、KIFの方と共に小中学校と高等学校



日本語教室「くらしのにほんごくらぶ」の様子

に現状を把握するためのアンケート調査を行いました。約2カ月半という短い実習期間では、調査をすべて終えることはできませんでしたが、アンケートを取ることができたものからはこれまで見ていなかったことが明らかになり、今後の支援につなげていくことができそうです。調査活動以外には、KIFやJICAが開催している多文化共生に関するイベントに数多く参加させていただきました。日本語教室「くらしのにほんごくらぶ」では、学習者さんとペアになってたくさんのお話をする中で、今までは当たり前すぎて考えたことのなかった、日本の

文化や伝統について考えるきっかけをもらいました。イヤーエンドパーティでは、JICA 熊本の尾上さんと演奏させていただきました。KIF で知り合った外国人の方々ともたくさんお話ができ、とても思い出に残っています。

今後私は派遣前訓練を経て、2024年4月末～5月頭頃にアフリカのガボンに派遣され、首都のリーブルビルにある小学校で、現地の先生と協力して子どもたちの基礎計算力の向上を目指し

て活動する予定です。活動の内容は今回とは全く異なりますが、初めての土地でそこに暮らす人たちと共に活動するという経験をさせていただいたことは、ガボンに行っても必ず私の力になると思っています。また、これから派遣までの期間で、私はガボンの公用語であるフランス語を学ぶこととなりますが、KIF で日本語を学習する外国人の方々のひたむきな姿勢は、そんな私に勇気を与えてくれました。くじけそうになった時には、そんなみなさんの姿を思い出して頑張ろうと思います。

最後になりますが、私に関わってくださったすべての方に、この場を借りて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。またいつかお会いしましょう！



12/9のイヤーエンドパーティでのステージ演奏の様子

KIF からのお知らせ イベント告知欄

熊本市国際交流振興事業団(KIF)では、毎年2月を多文化共生月間と定め、多文化共生社会実現のために必要なことを市民の皆さんと共に課題等を知り、考え、実現を目指す機会として多文化共生・異文化理解促進する事業を開催しています。本年度は「多様な人たちが支え合う多文化共生の地域づくり」をテーマに下記の事業を開催します。

1 多文化共生パネル展示

熊本市の外国人住民状況の分析、紹介及び熊本市外国人総合相談窓口に寄せられた相談内容等の紹介展示を行います。あわせて外国人住民による書初め展示も行います。

開催日時:2月1日(木)～2月29日(木)

開催場所:熊本市国際交流会館1階エントランスホール



昨年度の展示の様子

2 多文化ウィークエンド

2月のウィークエンド(週末)に外国人コミュニティによる自国文化の魅力や、日本と自国文化の違いなど座談会形式のセミナーを開催します。

開催日時

○ 2月11日(日) 午後2時～午後4時【インドネシア紹介】

○ 2月17日(土) 午後2時～午後4時【台湾紹介】

○ 2月24日(土) 午後2時～午後4時【ネパール紹介】

開催場所:熊本市国際交流会館2階交流ラウンジ

募集人数:各回 50 名程度

参加費:無料



昨年度のセミナー様子

3 多文化共生シンポジウム「地域と外国人住民が協働で取り組む魅力ある地域づくり」

熊本でも増加している在住外国人の活力を生かした地域づくりや、地域での多文化共生・協働を目指した地域づくりを地域住民と共に考えるシンポジウムを2部構成で開催します。

開催日時:3月23日(土) 午後2時～午後4時30分

開催場所:熊本市国際交流会館2階交流ラウンジ

募集人数:80名程度

参加費:無料

【第1部】基調講演

「地域と外国人住民が協働で取り組む魅力ある地域づくり」

講演者:公益財団法人佐賀県国際交流協会 理事長 黒岩 春地氏

【第2部】パネルディスカッション

地域住民と外国人住民でつくる多文化共生社会(予定)



昨年度のシンポジウムの様子

【お申込み・お問合せ】

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 企画チーム

(TEL)096-359-2121 (MAIL)pj-info@kumamoto-if.or.jp

熊本市国際交流会館でのインターン活動を終えて(令和5年9月22日～12月23日:48日間)

～熊本学園大学ホスピタリティ・マネジメント学科2年 大塚結衣さん 清永琴子さん～



こんにちは。私は大塚結衣と申します。熊本学園大学ホスピタリティ・マネジメント学科です。約3ヶ月間、国際交流会館でインターンシップをさせていただきました。国際交流会館にいらっしゃる外国人の方々とたくさん交流ができ、貴重な経験をさせていただきました。インターンシップで学んだことを、これからの将来に活かしていけるように頑張ります。」



はじめまして。私は清永琴子と申します。熊本学園大学のホスピタリティ・マネジメント学科です。約3ヶ月間国際交流会館でインターンシップをさせて頂きました。熊本市に住んでいる外国人の方とたくさん交流ができ、その国について教えて頂いたり、フェアトレードについて学ぶことができたり、会館でしかできない貴重な体験をさせて頂きました。ここで培ったコミュニケーション能力などをこれからの生活でも活かしていきたいと思います。本当にお世話になりました。よろしくお願い致します。

☆ 2024 年度 賛助会員募集！ ☆

事業団では賛助会員を募集しています。私どもの活動にご理解とご支援をいただくとともに、更なる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。会員の方々には事業団の機関紙「ニュースターくまもと」の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。ご協力いただける方はお手数ですが下記連絡先までお問合せいただきますようお願い申し上げます。

《個人会員》 一口 2,000 円 《団体会員》 一口 10,000 円

私たちは熊本市の国際交流活動を応援しています。団体会員のみご紹介いたします(敬称略) 令和5年9月5日時点

熊本労災病院／学校法人君が淵学園崇城大学／社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院／熊本保健科学大学

独立行政法人国立病院機構熊本医療センター／社会医療法人寿量会熊本機能病院／熊本日米協会

◆◆事業団 SNS のご紹介◆◆

事業団SNSのご紹介 ～事業団が使っている SNS をご紹介します！是非アクセスしてみてくださいネ！～

Instagram		Facebook			X(旧 Twitter)	Youtube	相談プラザ
メイン	外国人向け	メイン	外国人向け	相談プラザ			



《お問合せ・連絡先》

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団

熊本市中央区花畑町4番18号(熊本市国際交流会館)

(休館日)第2・第4月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

(TEL)096-359-2121 (FAX)096-359-5783

E-Mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp

URL: <https://www.kumamoto-if.or.jp>